

# 令和元年度 教育推進部の経営方針

教育推進部長 若生 雅史

1. 教育推進部のめざす姿

「地域と人の輪でつくる 育ち学び合う教育の推進」を基本理念とし、「①地域に根ざした教育の推進 ②未来を切り拓き、たくましく生き抜く力の育成 ③互いを認め合い、共に生きる態度の育成 ④参画と協働を支える生涯学習の推進 ⑤安全で安心できる教育環境の整備」の5つを基本方針とする。その上で、「ふるさと川西に誇りをもち地域や文化、自然とともに生きる人 夢に向かい志をもって未来を切り拓く人 生命と人権を尊重し思いやりと規範意識をもった人 自ら学び、考え、社会の発展に貢献する人」という「めざす人間像」の実現のため、将来を見据えた創造性と課題に対する迅速な機動力を持った組織を目指す。

2. めざす姿に向けた指標 (KGI・重要目標達成指標)

指標	H29 実績	H30 実績	R1 目標	R2 目標	R3 目標	R4 目標
○「学習内容を理解している」と思う児童の割合 (小6)	81.0%	該当なし	81.0%	該当なし	81.0%	81.0%
○「学習内容を理解している」と思う生徒の割合 (中3)	71.5%	該当なし	72.0%	該当なし	72.0%	72.0%
○経済的理由による長期欠席児童生徒数の全児童生徒数に占める割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
○留守家庭児童育成クラブの入所待機児童数	113人	32人	こども子育て計画に準じる			0人

3. 現状と課題 (昨年度の振り返り)

【現状】①教育職と行政職が機能融合することによって、成果や課題を多面的に捉え、より柔軟で実効性のある発想を生み出す組織である。②市内全域に教育施設(小学校・中学校・公民館・図書館等)を有し、地域の人材や文化・環境を活用した経営が可能である。③こども未来部との密接な連携によって、子どもの育ちと学びを一体的に捉えることができる。

【課題】①教職員の世代交代を受けて、若手教員を中心とした教職員の資質向上を図る必要がある。また、地域の教育的資源を学校教育活動に活用する施策を推進する必要がある。②社会教育の成果をまちづくりや学校教育に活かす実践機会の拡充が必要である。

4. 教育推進部の重点目標
- ①次期学習指導要領への対応
  - ②教育環境の整備
  - ③特別支援教育(インクルーシブ教育)の充実
  - ④就学支援制度の検討
  - ⑤センター方式による中学校給食実現への準備
  - ⑥留守家庭児童育成クラブの待機児童解消
  - ⑦PTAのあり方を検討する場を設定
  - ⑧こども未来部と合同で、定期的に連携推進会議・情報共有会を開催

5. 重要目標の達成に向けた具体的な取組み

①	細事業名	教育研究事業	担当課	教育支援センター
	具体的な取組項目	・「主体的・対話的で深い学び」の研究		
②	細事業名	外国語教育推進事業	担当課	学校教育課
	具体的な取組項目	・JETプログラムの運用による「外国語活動・外国語科」の充実		
③	細事業名	学校運営事業	担当課	教育総務課
	具体的な取組項目	・学校施設の整備・修繕等の実施		
④	細事業名	教育支援センター運営事業	担当課	教育支援センター
	具体的な取組項目	・配慮を要する児童生徒へのアプローチ ・SCやSSWの活用・教員の資質向上		
⑤	細事業名	就学支援事業	担当課	学務課
	具体的な取組項目	・給付型奨学金制度の研究 ・奨学資金返済支援制度の研究		
⑥	細事業名	中学校給食運営事業	担当課	学務課
	具体的な取組項目	・要求水準検討及び要求水準案作成、実施方針公表		
⑦	細事業名	市立留守家庭児童育成クラブ運営事業	担当課	社会教育課
	具体的な取組項目	・公設クラブの定員増への取り組み		
⑧	細事業名	民間留守家庭児童育成クラブ運営支援事業	担当課	社会教育課
	具体的な取組項目	・民間事業者への整備費や運営費の補助		
⑨	細事業名	青少年育成事業	担当課	社会教育課
	具体的な取組項目	・(仮称)PTAあり方検討会の設置		